

療育・教育専門部会 活動状況報告書

1 開催状況 ※前回全体会（令和6年2月）以降の開催状況

令和6年度	第1回	5月 30日（木）	場所：沼津市役所8階	会議室
	第2回	7月 22日（月）	場所：沼津市役所8階	会議室
	第3回	9月 30日（月）	場所：沼津市役所8階	会議室（予定）

2 協議事項（貴専門部会で重要度の高い議題を2点以内に絞り込んでください）

(1) 障がい児を取り巻く制度の勉強会

内容：

本市の障がい児支援における制度及び社会資源を共有することを目的に、市こども家庭センター（R6.4 設立）及び市健康づくり課より、それぞれセンターの体制や対応業務、母子保健事業について説明いただいた後、小グループでのディスカッションを行い、意見交換及び日々の業務での困りごと・課題等を共有した。

検討結果・課題等：箇条書き（文章で記す場合は「内容」欄と同様に記載）

➤ 学校との連携が上手くできているとは言い難い。連携の仕方が分からない。

(2) 不登校児童への対応について

内容：

市内の不登校児童の実情や対応を共有することを目的に、学校教育課指導主事より講義をいただいた後、小グループでのディスカッションを行った。

併せて、本市の不登校児童の放課後等デイサービス利用までの流れについて、構成員に共有した。

検討結果・課題等：箇条書き（文章で記す場合は「内容」欄と同様に記載）

➤ 課題を抱える世帯に対して、1機関で対応を抱え込むのではなく、多角的な視点から支援方針を検討していくことが必要。

➤ 関係機関同士の横のつながりを強化することが、上記を達成するためには不可欠。

上記以外の協議事項（上記(1)(2)以外特筆することがあれば、標題だけ箇条書きしてください）

- ◇ 学校・教育・家庭との連携について
- ◇ 保育所等訪問支援のニーズへの対応について
- ◇ 医療的ケア児のニーズへの対応について
- ◇ 短期入所のニーズへの対応

3 その他（自由記載）

各議題が広域・制度横断的に検討しなければ解決に繋がらないものが多い。これまで関わっていない機関・職種とも連携しながら協議を深めて地域課題解決に繋げていく必要がある。

医ケア児：県医療的ケア児等支援センター（9/30 開催の部会に登壇予定）